

集団回収に関する意見交換会出席報告

令和4年11月9日

出席者

町会集団回収担当者・集団回収事業者・中野区環境部職員

議題

集団回収の現状と課題

1. 区からの情報

中野区の一人一日ごみ排出量は、3年連続で23区で一番少ない
ゴミ出前講座は要望に応じて、区のほうから出張するので、依頼して欲しい。

今年度から、集積場所で事故が起きた場合は、区が保険に加入したので、
連絡すれば、保険が支払われるようになる

2. 参加者からの質問事項

古布・古着の出し方 雨の日は出さないで欲しい。回収時間に雨が降り出した場合は可燃ゴミになる

電池の回収 活動センターに届けられない場合は、不燃ごみの日に、袋に表記して出しても良い

ラベルの付いたままのペットボトルの取り扱い 大量に出ている場合は、区に連絡してもらえば、別途回収する

牛乳パック等の紙パック 洗ってあればまとめて雑紙としてまとめて出してもよい

荷物の中に入っている緩衝材の取り扱い 古紙の中で使い物にならなくなったものが緩衝材として使われているので、古紙に混ぜて出さないで欲しい。
可燃ゴミ扱い。最近では、紙のように見えても、古紙として再生できないものも増えているので、注意して欲しい。

段ボールの出し方 畳んで出して欲しい。箱のまま出し、中にゴミが入っている場合は、回収できない。

集団回収業者の出前講座 依頼すれば行う